



# 高速しが

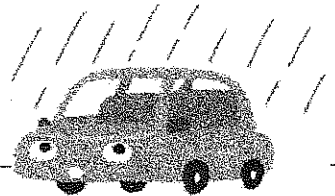
令和2年  
(2020)  
6月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

## 梅雨期における交通事故防止

今年もまた梅雨の季節を迎えました。うっとうしい長雨の続く時期には、雨が原因の交通事故が増加する傾向にあります。雨の日の運転には、次の注意事項を頭にとどめ、いつも以上に慎重な運転に心がけて、交通事故防止に努めてください。

### 降雨時の注意事項



#### ◆ むやみに進路を変更しない

バックミラーに付いた水滴や他車の水しぶきなどで視界が悪くなり、走行車両の発見が遅れることで事故の危険性が増加します。

#### ◆ 速度を落として車間距離に注意

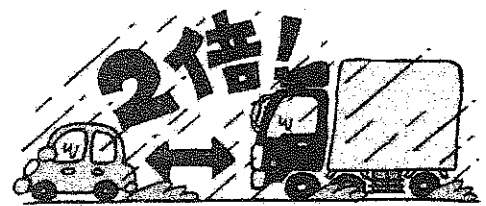
雨の降り始めは特に路面が滑りやすくなります。スピードを落とし、前車との車間距離は長目にとりましょう。

#### ◆ 急ブレーキ急ハンドルは厳禁

雨で路面が濡れているときの摩擦係数は、乾燥時の2分の1となり、非常に滑りやすい状態です。

#### ◆ わだちの窪みに注意

道路にできた車のわだちにたまった水たまり部分では、ハンドルを取られ易いので注意しましょう。



### ☆ハイドロプレーニング現象に注意!☆

ハイドロプレーニング現象とは、わだちなど水が溜まった場所を走行すると、タイヤと路面の間に水が入り込み、タイヤが水上を滑走するようになって、ハンドルやブレーキが利かなくなる現象です。走行中タイヤが浮いたような感じがしたら、



ハイドロプレーニング現象が発生したと判断し、ハンドルをしっかりと持ちアクセルを少しずつ戻してスピードを緩め、タイヤのグリップの回復を待ちましょう。慌てて急ハンドルを切ったり、急ブレーキを踏むと車がスピンして事故の原因となりますから、絶対

にやめてください。

